

推 奨 品 種

夏 秋 ど り ね ぎ 「 吉 蔵 」

(園試 野菜花き部)

1. 来歴：埼玉県の鈴木元吉氏育成。黒柄系の集団選抜から得られた黒昇一本ねぎ。

品種育成元 武蔵野種苗園

2. 特性概要

- 1) 夏秋どり作型は定植から収穫まで約100日を要し、夏期高温期を経過するため品質が低下しやすい作型である。吉蔵は夏期の高温条件でも生育が早く、収量が安定している。
- 2) しまり・食味等の品質が従来金の長とほぼ同等である。また、病害抵抗性は、さび病・黒斑病に対して従来金の長より強い。
- 3) 本品種は何れのは種期においても分けつ株が発生しないため、商品化率が高い。

3. 推奨品種に採用したい理由

現在、春まき秋どり作型ねぎの作付が転換畑を中心として伸びてきており、今後ますます増加する傾向にある。現在使用されている品種は、耐暑性・耐病性・品質面が不安定であり、現地からは栽培が容易で耐病性の強い品種が求められている。

そこで今回、吉蔵が耐暑性・耐病性・品質面で現行の品種に比較して有望であったので推奨品種として採用したい。

4. 適応地域

- 1) 適応地域：県中南部
- 2) 適応作型：夏秋どり作型

5. 栽培上の留意点

- 1) この作型における育苗日数は約95～100日程度である。また本畑における在圃期間は種期が異なっても約100日程度であるので適期を逃さないよう、培土・収穫を行う。
- 2) 抽台を防止するため育苗はハウス内でトンネル被覆し保温する。また、発芽までトンネル内に通気性被覆資材のべたがけを行うことにより苗質が向上する。

6. 試験成績概要

表-1 収量および規格別割合 (平成3年度)

は種日	品 種	生葉数 (枚)	軟白部(cm)		調整重 (g)	a収量 (kg)	左比	規格別割合					
			長	径				3L	2L	L	M	S	分けつ
2	(標)金 長	6.8	34.6	1.79	168.1	446.7	(100)	0	26.1	56.5	13.0	0	4.3
/	(比)夏黒1号	4.9	35.3	1.59	132.4	355.2	80	0	13.8	48.3	31.0	3.4	3.4
20	吉 蔵	6.0	33.8	1.75	167.2	464.3	104	0	34.6	40.5	24.9	0	0
	元 蔵	6.7	34.9	1.73	167.9	466.3	104	3.6	32.1	39.3	25.0	0	0
3	(標)金 長	5.6	33.1	1.69	112.4	305.6	(100)	0	17.0	57.4	23.4	0	2.1
/	(比)夏黒1号	4.9	31.6	1.60	102.7	285.2	93	0	10.4	52.1	35.4	2.1	0
1	吉 蔵	5.1	32.0	1.66	127.6	354.3	116	0	20.0	52.0	28.0	0	0
	元 蔵	5.2	33.9	1.64	120.9	335.7	110	0	19.6	47.8	30.4	2.2	0
3	(標)金 長	5.5	32.7	1.90	118.2	328.2	(100)	6.0	50.0	28.0	16.0	0	0
/	(比)夏黒1号	4.8	31.7	1.83	125.7	349.1	106	4.3	34.8	39.1	17.4	4.3	0
15	吉 蔵	4.7	34.9	1.93	145.1	402.9	123	8.2	46.9	36.7	8.2	0	0
	元 蔵	4.7	34.0	1.96	130.5	362.4	110	4.3	57.4	27.7	10.6	0	0

表-2 品質および病害発生程度 (平成3年度)

品 種	軟白部のしまり			病害の発生程度*			食味評価		
	2/20	3/1	3/15	2/20	3/1	3/15	2/20	3/1	3/15
(標)金 長	良	良	良	多	多	多	良	良	良
(比)夏黒1号	やや不良	良	良	少	少	少	-	-	-
吉 蔵	良	極良	極良	少	少	少	良	良	良
元 蔵	極良	極良	良	少	少	少	良	良	良

*さび病・黒斑病